

- 問1 戦国大名の武田信玄が制定した「甲州法度之次第」のように、当時の有力な大名たちが独自の法律を定めた主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 朝廷から与えられた官位の順序に従って、家臣の序列を整理するため
 2. 室町幕府の命令を全国の農民に守らせ、将軍の権威を強めるため
 3. キリスト教の布教を制限し、外国との貿易を大名が独占するため
 4. 家臣同士の争いを抑え、民衆を含めた領民全体を統制して領国を安定させるため
- 問2 戦国時代を象徴する「下剋上」という言葉の意味や背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 農民が団結して自治組織を作り、守護による年貢の取り立てを拒否したこと。
 2. 幕府が守護の権限を強め、地方の国人や農民を厳しく統制しようとしたこと。
 3. 身分の低い者が実力によって上の立場の者を倒し、勢力を拡大させていったこと。
 4. 朝廷が有力な武士に官位を与え、伝統的な身分秩序を維持しようとしたこと。
- 問3 16世紀半ば、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが日本を訪れ、キリスト教を伝えた当時の世界情勢に関する説明として最も適切なものはどれか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
1. 宗教改革によって誕生したプロテスタントの諸国が、アジアにおける植民地支配を広めるために宣教師を派遣していた。
 2. 十字軍の遠征が成功したことで、キリスト教勢力がイスラム教勢力を圧倒し、アジア全域での布教が容易になっていた。
 3. ヨーロッパで宗教改革が起こり、勢力を立て直そうとするカトリック教会が海外への布教を積極的に進めていた。
 4. ルネサンスによる科学の発達により、日本の戦国大名から西洋の進んだ宗教や文化を導入したいという正式な要請があった。
- 問4 室町時代から戦国時代にかけて、家臣が主君に打ち勝って実力を伸ばすなどの風潮が広がりました。このような下剋上の風潮の中で、戦国大名が家臣の行動を取りしめ、領国を独自に支配するために定めた法律を何といいますか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 武家諸法度
 2. 分国法
 3. 御成敗式目
 4. 公家諸法度
- 問5 戦国時代の都市についてまとめられた資料において、「有力な商人による自治的な運営が行われていたこと」「種子島に伝来した鉄砲の主要な生産拠点となったこと」「千利休などの商人がわび茶の文化を完成させたこと」という3つの特徴を持つ、現在の大阪府に位置する港町はどこですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
1. 博多
 2. 堺
 3. 長崎
 4. 平戸
- 問6 戦国大名が「分国法」を制定した目的や、その社会的な背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
1. 徳川將軍家への忠誠を誓わせ、大名による勝手な婚姻や城の補修を制限して謀反を防ぐため。
 2. 下剋上の世において、家臣同士の私的な争いを禁じ、領国内の秩序を安定させて支配力を強めるため。
 3. 裁判の迅速化を図るため、過去の判例を整理して評定衆の裁決の基準を明確にするため。
 4. 幕府の法に基づく全国統一的な裁判基準を確立し、朝廷の権威を回復させるため。
- 問7 15世紀後半の応仁の乱以降、室町幕府の権威が低下するなかで、各地の戦国大名が自らの領国内を独自に統治・管理するために制定した法律を何というか、正しい名称を選びなさい。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 分国法
 2. 御成敗式目
 3. 武家諸法度
 4. 公事方御定書
- 問8 戦国大名が領国内の統制を図るために定めた「分国法」の性質について説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 大名が自分の領国内にのみ適用した独自の法律であり、地域の実情に応じた内容であった。
 2. 豊臣秀吉が全国を統一した後、農民から武器を取り上げるために発令したものであった。
 3. 日本で最初の本格的な法律であり、天皇を中心とした律令国家の仕組みを定めたものであった。
 4. 源頼朝が全国の守護や地頭に対して、公家との紛争を公平に裁くために制定したものであった。
- 問9 16世紀半ば、フランシスコ・ザビエルらイエズス会の宣教師が日本を含むアジアなど世界各地へ布教に赴いた歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 京都府公立入試 類似)
1. 十字軍の遠征が失敗し、キリスト教徒が住む場所をアジアに求めたため
 2. ヨーロッパで始まった宗教改革に対し、カトリック教会が勢力を立て直そうとしたため
 3. 産業革命によって生産された工業製品を販売する市場を求めていたため
 4. マルコ・ポーロが『世界の記述（東方見聞録）』で日本を黄金の国と紹介したため
- 問10 室町時代後半から戦国時代にかけて、実力のある者が身分の高い者に打ち勝って勢力を広げていく社会風潮が見られました。このような風潮を何と呼びますか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 惣領制
 2. 下剋上
 3. 徳政令
 4. 寄合
- 問11 平安時代中期から安土桃山時代にかけて、武士が政治の主導権を握っていく過程で起きた次の4つの出来事を、発生した時期の古い順に並べたものとして正しい説明を選びなさい。 1. 平将門が関東で反乱を起こし、「新皇」と称した。 2. 平清盛が武士として初めて最高官職である太政大臣に就任した。 3. 北条泰時が、御家人の裁判の基準を明確にするため御成敗式目を制定した。 4. 織田信長が、室町幕府の将軍であった足利義昭を京都から追放した。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
1. 「平将門の乱」→「御成敗式目の制定」→「平清盛の太政大臣就任」→「織田信長による足利義昭の追放」
 2. 「平将門の乱」→「平清盛の太政大臣就任」→「御成敗式目の制定」→「織田信長による足利義昭の追放」
 3. 「平将門の乱」→「平清盛の太政大臣就任」→「織田信長による足利義昭の追放」→「御成敗式目の制定」
 4. 「平清盛の太政大臣就任」→「平将門の乱」→「御成敗式目の制定」→「織田信長による足利義昭の追放」
- 問12 戦国時代の九州を代表する大名で、現在の府内（大分市）を拠点にキリスト教を保護し、有馬晴信や大村純忠とともにローマ教皇のもとへ「天正遣欧少年使節」を派遣した人物は誰ですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
1. 今川義元
 2. 朝倉義景
 3. 北条氏康
 4. 大友宗麟
- 問13 16世紀のポルトガルによる日本への鉄砲伝来やキリスト教の布教は、当時のヨーロッパにおける宗教的情勢と深く関わっています。カトリック諸国がアジアへの進出を強めた背景について、正しい用語を組み合わせた説明を選びなさい。 (2021年 愛知県公立入試 類似)
1. 宗教改革を弾圧したカトリック諸国が、プロテスタントと協力してアジアでのキリスト教布教を進めた。
 2. 十字軍の遠征によってカトリックが衰退したため、新しく誕生したプロテスタントが海外貿易を主導した。
 3. 宗教改革によって誕生したプロテスタントに対抗し、カトリックが海外進出を通じて勢力拡大を図った。
 4. ルネサンスの影響で誕生したプロテスタントが、カトリックを国外へ追放するために海外進出を支援した。